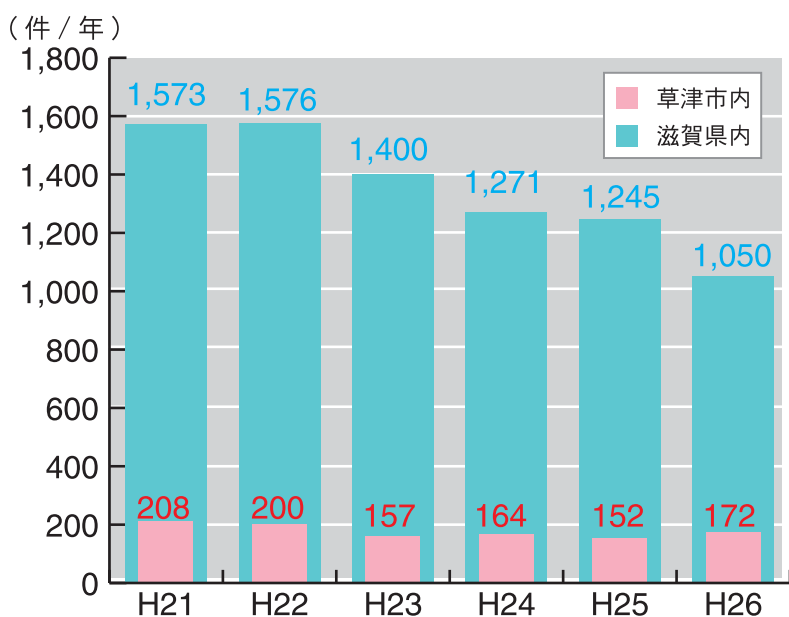


「市内における自転車を取り巻く環境を知ろう！」

自転車は、私達にとって大変便利で身近な乗り物です。健康の増進や地球温暖化への寄与、そして、自動車に比べて家計にもやさしい乗り物です。また、自動車のように運転免許証を必要としないことから、小さなお子様から高齢者まで様々な年齢の方がいつでもどこでも気軽に利用することができます。

草津市は、平坦な土地が多い地形で、企業や大学もあることから、通勤、通学、買い物などの移動手段として、自転車の利用割合が高い地域であります。一方で、自転車が関係する交通事故が多く発生している地域でもあります。草津市内で発生した自転車が関係する事故の現状を下のグラフから見てみましょう。そして、自転車に乗る際にどんなことに気を付けたらよいのかを考えてみましょう。



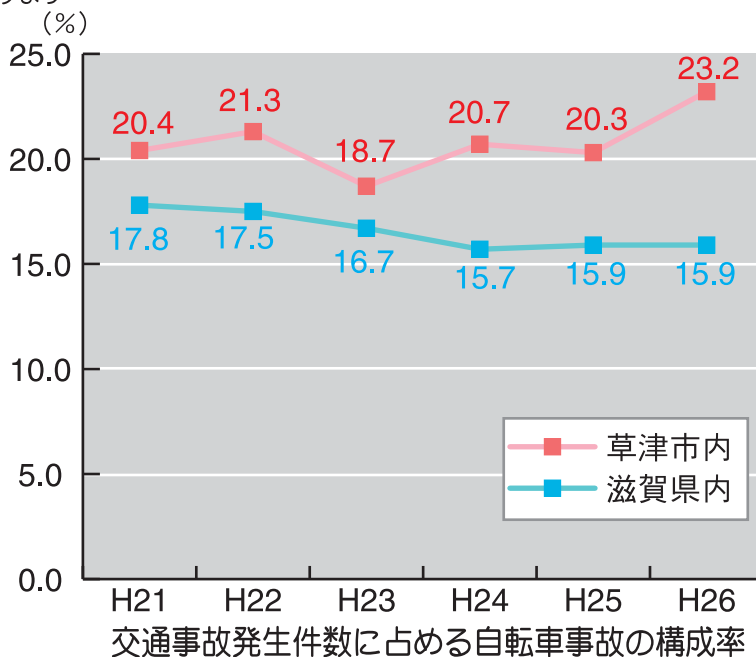
自転車事故の発生件数

出典：滋賀県警察本部統計データより

滋賀県と草津市の自転車による交通事故の発生件数を示しています。滋賀県全体では、自転車による事故の発生件数は減少傾向にありますが、草津市では横ばいとなっています。

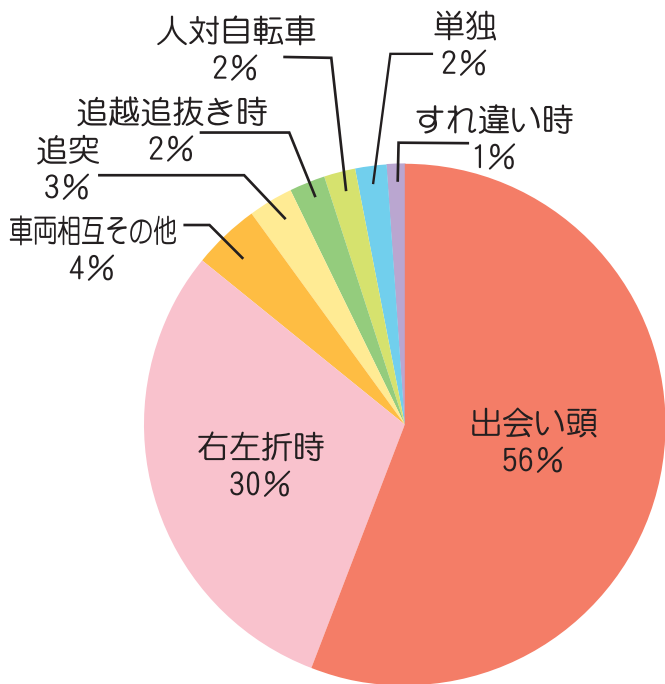


右のグラフからも、交通事故発生件数に占める自転車の構成率は高くなっていることが分かります。自転車が危険な乗り物であることを十分に理解した上で、ルールやマナーを身につける必要があります。



交通事故発生件数に占める自転車事故の構成率

出典：滋賀県警察本部統計データより



事故発生状況別自転車事故発生割合（平成 26 年）

出典：滋賀県警察本部統計データより

時間帯別事故発生件数は、朝 8 時～10 時と夕方 4 時～夜 8 時が多くなっています。通勤・通学時の自転車利用は交通量が多いことから特に注意が必要です。

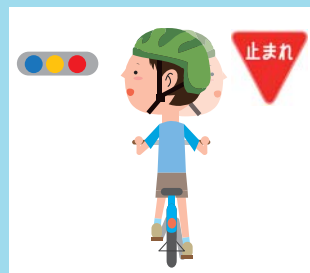
朝は、時間にゆとりをもった運転を心掛け、また、夕暮れ時には早めにライトを点灯させましょう。



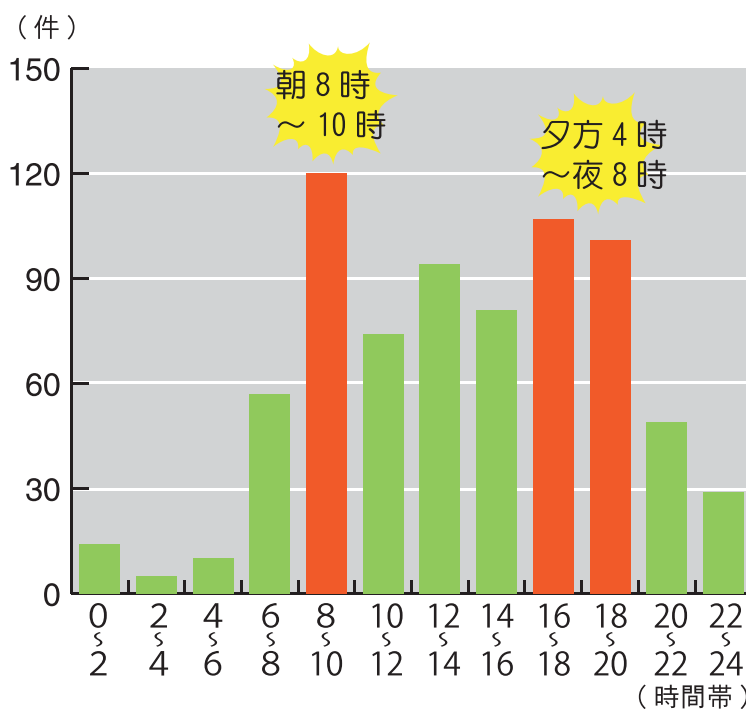
7-スト
3

- ① 出会い頭
- ② 右左折時
- ③ 車両相互その他

交差点に出てくる自転車は、右折や左折をする車から見えにくいので注意しましょう。車にぶつかったり、巻き込まれたりすることがあります。



交差点や、見通しの悪い道路へ出る時は、一旦停止するなど安全を確認したうえで通行しましょう。

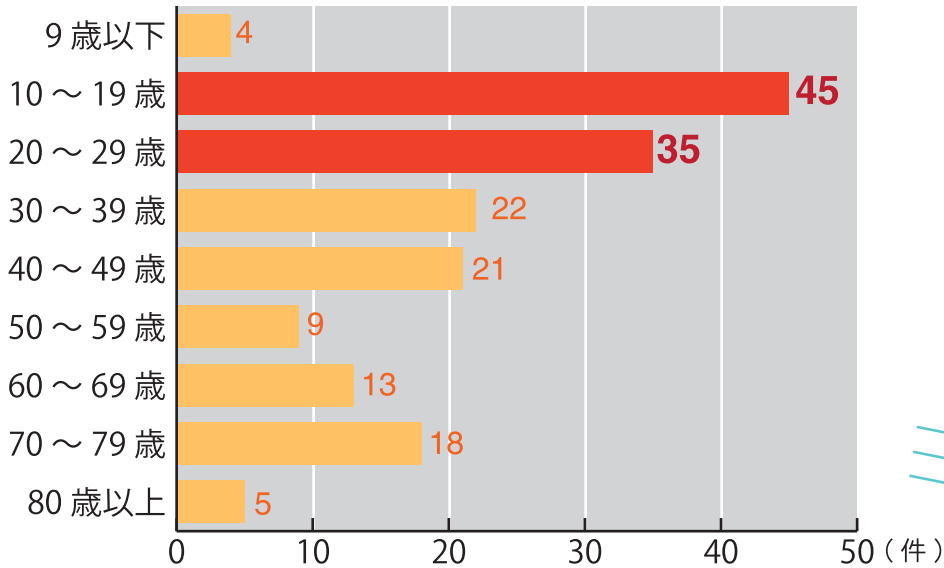


時間帯別自転車事故発生件数（平成 26 年）

出典：滋賀県警察本部統計データより

年齢別自転車事故発生件数における傾向・特徴としては、自転車を利用する機会が多い若年層において、事故が多いことがわかります。

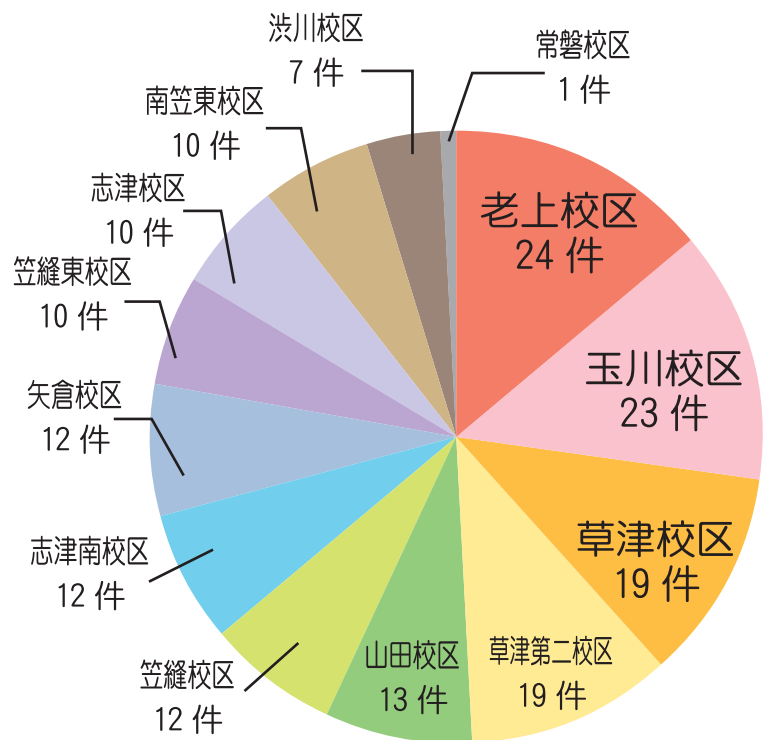
10代・20代の若年層での安全教育の必要性大



年齢別自転車事故発生件数（平成26年）

出典：滋賀県警察本部統計データより

小学校区別事故発生件数は、平成26年では老上校区が一番多く、24件となっています。続いて玉川校区の23件、草津校区の19件となっています。



小学校区別自転車事故発生件数（平成26年）

出典：滋賀県警察本部統計データより

